

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力

マスチヨ行政郡オブルドン地区地域病院感染症科病棟改修計画 供与式報告

平成27年5月14日、「マスチヨ行政郡オブルドン地区地域病院感染症科病棟改修計画」の計画完了を記念する供与式がマスチヨ行政郡にて執り行われ、鎌田大使、マスチヨ行政郡長およびオブルドン地区地域病院関係者が参席しました。

マスチヨ行政郡は、タジキスタン北部のウズベキスタン国境付近に位置し、首都ドウシャンベ市から車で約6時間半の距離にあります。同郡オブルドン地区の地域病院は、1982年に設立され、郡で唯一の感染症専門科として需要も高く、年間約3,000名の受診患者を抱えていました。しかしその重要度にも関わらず、建物の老朽化のため感染症病棟は1996年から閉鎖を余儀なくされていました。

今般、本計画により感染症病棟の全体改修が行われたことで、閉鎖されていた病棟が一新されました。屋根・窓・壁・床のみならず水道設備も刷新されたことで、病棟内で清潔な水を使用することが可能となりました。



老朽化のため1996年から閉鎖されていた病棟が改修工事により甦りました。



供与式に先立ち、病棟内の視察が行われました。病棟内も大変清潔に保たれています。



本計画実施により水道設備も刷新され、清潔な水が使用できるようになりました。



供与式ではマスチヨ行政郡長より日本の支援に大きな感謝が述べられました。